

令和元年大磯町議会

6月定例会一般質問（6月4日・5日）

質問議員	質問事項（１日目）	答弁者
1 9 番 二宮加寿子議員 （ 80 分） 9：05～10：25	1. SDGs 未来都市かながわプラごみゼロ宣言について 6 月は環境月間である。2019 年 4 月 29 日～5 月 10 日にかけてジュネーブにおいて、バーゼル条約締約国会議（COP14）が開催された。本会議においてバーゼル条約附属書改正や、プラスチックごみに関するパートナーシップの設立が決定され、汚れたプラスチックごみを条約の規制対象とすることが決定した。昨今プラスチックごみを取り巻く環境に変化が起きているが、 （１）大磯町のプラスチックごみの現状は。 （２）プラスチックごみを削減する取り組みはどうか。 2. 自転車保険加入の促進を求める取り組みについて 環境に優しい交通手段で、身近で手軽な乗り物として多くの人々が利用する自転車。普及台数も増える一方で、歩行者や他の自転車を巻き込んだ事故が増加傾向にある。今年の 4 月 1 日より「神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行された。 （１）自転車事故対策とその周知について、どのように取り組んでいるか。 （２）安全教育についてはどのように取り組んでいるか。 （３）町民の自転車保険の加入状況とその周知について伺う。 （４）自転車保険加入の義務や促進を求める条例を制定した自治体は広がりを見せているが、どのように認識しているか伺う。 （５）本町の自転車保険加入の促進の取り組みについて伺う。 3. 介護予防を推進する本町での取り組みについて 少子高齢化社会となり、高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が増えている。今後、高齢化がさらに進むことが推測される中、高齢者が要介護状態などになることの予防、また要介護状態の軽減もしくは悪化の防止として介護予防事業が重要になると思われる。国はこれからの介護予防の考え方として、地域の中に生きがい・役割を持って生活できるような居場所や「通いの場」づくりなどが重要と示している。町でも第七期大磯町高齢者福祉計画の中で、健康づくりや介護予防について高齢者自らが自発的に継続的に取り組んでいくことが重要としている。現在の介護予防事業について取り組み内容を伺う。 4. 西湘海岸の保全対策事業について 国が進める海岸の養浜効果の影響について以下を伺う。 （１）直轄西湘海岸保全対策事業の内容は。 （２）海岸保全対策事業の神奈川県との関係は。 （３）西湘海岸保全対策の進捗は。	町 長 町 長 教育長 町 長 町 長

2 3 番 吉川 重雄議員 (80 分) 10 : 40～12:00	1. 急激に進む少子高齢化を迎え、“安全・安心”、“観光”のまちづくりの中で次の点を伺う (1) ごみ出し、ごみ収集（高齢者ごみ出し支援委託も含む）について、どのような問題を把握しているのか。また、将来に向けての検証は進んでいるのか。これからの展望は見えているのか。 (2) まちづくりを進めている中で、町内に多数ある「公衆トイレ」について、町民から苦情等を多く聞くことがあるが、町の見解を問う。	町 長
3 1 番 竹内恵美子議員 (55 分) 13 : 00～13 : 55	1. 会計年度任用職員制度への対応について 総務省によると、地方公務員の臨時・非常勤職員は全国の自治体で約 64 万人おり、任用ルールの特典化などの課題があることから、平成 29 年度に改正地方公務員法が成立し、新たに「会計年度任用職員」制度が創設され、令和 2 年 4 月から施行されることになり、開始までには、勤務条件などの制度整備や条例改正の必要などもあるのではないかと思います。 そこで、今回の法改正により、今の制度と大きく変更になるような点や、法改正による本町への影響、また、今後どのようなスケジュールを予定しているのか伺う。 (1) 現在、本庁舎 1 階や旧吉田茂邸の受付、税務課の確定申告時の手伝い、介護保険関係の事務など多くの臨時職員を雇用しているが、この法改正により、雇用条件や給与面など、大きく変更になるのか。 また、任期付職員や非常勤職員との違いは。 (2) 財政面での負担や職員採用の面でも負担増はあるのかななどの影響や、来年度から施行となると、今年度中に条例改正も必要と思うが、どのようなスケジュールを考えているのか。 2. 相模国府祭（こうのまち）調査事業の進捗状況について 相模国府祭（こうのまち）調査事業は、国、県の補助事業として、平成 28 年度の事業開始以来 4 年目を迎えた。現在の進捗状況について問う。	町 長 町 長 教育長

4 2 番 清田 文雄議員 (55 分) 14 : 10～15 : 05	1. 「大磯港賑わい交流施設」整備について 平成 31 年第 1 回大磯町議会臨時会において、議案第 18 号「工事請負契約の締結について」が可決され、大磯港賑わい交流施設整備工事が本格的にスタートした。平成 30 年 11 月 30 日の総務建設常任委員会協議会で示された大磯港賑わい交流施設整備スケジュールによると、これにより施設の建設・完成へと一気に進んでいくものと思われるが、以下の点について質問する。 (1) 工事の進捗状況は。 2020 年 3 月 13 日までの工期になっているが、4 月に行われるという予定だった漁協施設の解体が 5 月 8 日現在まだ行われていないが、進捗はどうか。 (2) 臨時会での質疑の中で、設備の点で危惧される点があったが、その後検討されたのか。新たな変更点はあるのか。 (3) 今後、追加工事、補正等の議会案件はあるのか。 (4) 指定管理者である(株) 田園プラザ川場について、完成時期 1 年を切り、施設設計も施工業者も決まった現在、(株) 田園プラザ川場との話し合いはどうか。また、賑わい創出施設への出品業者の状況は。 2. 町の交通安全対策について 池袋の高齢者の運転による母子が犠牲になった事故、また、滋賀県大津市において、保育園の児童が右折車の接触事故により犠牲になった事故等、いくら交通ルールを遵守していても、また私たちが何も過失がないのに事故に巻き込まれる事案が立て続けに発生している。このような不慮の事故に大事な児童・園児が巻き込まれないためにどのようにしたらよいか、行政、また町民にできることはということで、町の考えを伺う。 (1) 町内小学校の通学路の安全対策は。また、各幼保園の園外活動の安全対策は図られているか。 (2) 通学路において、どのくらい危険箇所を把握しているのか、その対策は。 (3) 安全対策において地域との連携・協働は。 (4) 高齢者の自主的運転免許の返納に対して、町の支援は。	町 長 町 長 教育長
5 5 番 三澤 龍夫議員 (55 分) 15 : 20～16 : 15	1. 駅前交通安全について 今年度の予算案で話題になった大磯駅前の交通安全を中心とした整備について伺う。 2. 下町の御船祭について 大磯港は整備されようとしているが、下町に住む者は大いに期待しているが、御船祭の舟山車の存在が港の近くに住む者としては大いに気になるところである。 御船祭のこれからについて、町はどのように考えているか伺う。	町 長 町 長 教育長

質問議員	質 問 事 項 (2 日 目)	答弁者
7 11 番 鈴木たまよ議員 (80 分) 9 : 00 ~ 10 : 20	1. 災害対策について 去年は温暖化が原因と思われる土砂災害や洪水などといった異常気象による被害が相次いだ。大磯も開発等による自然環境の変化や巨大地震による被害を想定して備える必要がある。これについての町の取り組みを問う。 2. 中学校給食について 方式が自校方式に決まり、給食担当の職員も配置されたことから、これから本格的に中学校給食の実現に向けて始動されると思われる。担当職員はどのような役割を担っているのか。また、現在の進捗状況及びこれからのスケジュールについて問う。 3. 待機児童対策について 待機児童の現況と待機児童問題の解決に向けての町の考えを問う。	町 長 町 長 教育長 町 長
8 13 番 渡辺 順子議員 (80 分) 10 : 35 ~ 11 : 55	1. 大磯駅前広場計画について (1) 町民の関心度が高い事業であるのに町民への周知不足は否めない。2019 年度の検討事業委託・2020 年度の実施設計、その後のスケジュールや財政負担などについて伺う。 2. 旧東海道松並木敷の整備について (1) 大磯町人口ビジョン・総合戦略によれば、2019 年は計画策定調整、2020 年度は詳細設計業務委託とあるが、具体的な事業内容はどのようなか。 (2) 地域住民との調整はされているのか。 3. おおいそ福祉会との裁判について その後の状況はどうなっているのか。将来の施設利用についての考えは。	町 長 町 長 町 長
9 8 番 奥津 勝子議員 (45 分) 13 : 00 ~ 13 : 45	1. 子育て支援について 令和の時代を迎える直前に、町民の方から御相談を受けたこと、また、感じたことに対し、町の考え方を伺う。 (1) 小児医療費対象者の拡大について。 (2) 平塚市でこの 4 月より発行した祖父母手帳について。 (3) 小学校の登校班について。 (4) 中学校の制服について。	町 長 教育長

10 12 番 鈴木 京子議員 (80 分) 14 : 00～15 : 20	1. 今後の財政運営と総合計画、政策会議、町民参画の考え方について問う 中崎町政のもと、将来にわたる財政負担が生じる大型事業が進み、借金に対する住民の不安や疑問も増している。公債費が増えることによる他事業への影響の考え方、税金の使い方の優先順位のつけ方、新規事業遂行に必要なマンパワー不足の補い方、計画実施に必要な予算立てに関する政策会議と町民参画の関係について問う。 2. 自校方式の中学校給食実施への工程を問う 調査は中学校給食の方式を決定するために行われ、自校方式に決定した。実施に必要な場所の選定、工法、設計建築などハード事業と並行して、食育や地産地消、保護者負担の軽減、災害時や高齢者等への対策等、ソフト事業も必要と考える。いずれも先進地の事例調査や町民の情報提供などを生かすことが大切ではないかと思う。町長部局と教育委員会の考えを問う。	町 長 町 長 教育長
11 7 番 高橋 英俊議員 (40 分) 15 : 35～16 : 15	1. 災害に強いインフラの対策について 道路や橋りょうなどは町民の日常生活に密接に係わるとともに、災害時の避難路等として非常に重要である。高度経済成長期に造られた道路施設や橋りょう等の老朽化は全国的な課題となっており、計画的な維持補修が求められている。次の点について問う。 (1) 橋りょう長寿命化修繕計画の進捗状況は。 (2) 道路ストック定期点検の今後の見通しは。 (3) 町内の冠水対策は。 (4) 大磯港の防潮堤の現状と運用体制について。	町 長
12 15 番 柴崎 茂議員 (80 分) 16 : 30～17 : 50	1. 令和の時代とこれからの行政運営の基本は 平成は災害の時代とも言われた。通告日 (5 / 17) で令和になり半月が経つ。 (1) 中崎町政は令和の時代がどんな時代と捉えているか。 (2) (1 の答弁を受けて) 大磯町行政として対応すべき空き家対策をどう考えるか。 (3) (1 の答弁を受けて) 町税の税收確保対策はどうあるべきか。 (4) (1 の答弁を受けて) 町立中学校給食を 3 月 28 日の政策会議で自校式に決めたというが誰がメンバーでそうだったか。全員正気だったか。	町 長

1 2 名 2 6 問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。